Market Letter 情報提供資料

ユーロ圏金融政策（2026年7月）

市場予想通り中銀預金金利を2.25%に据え置き

2026年7月24日

エネルギー価格が現水準から大幅に下落しなければ9月に追加利上げか

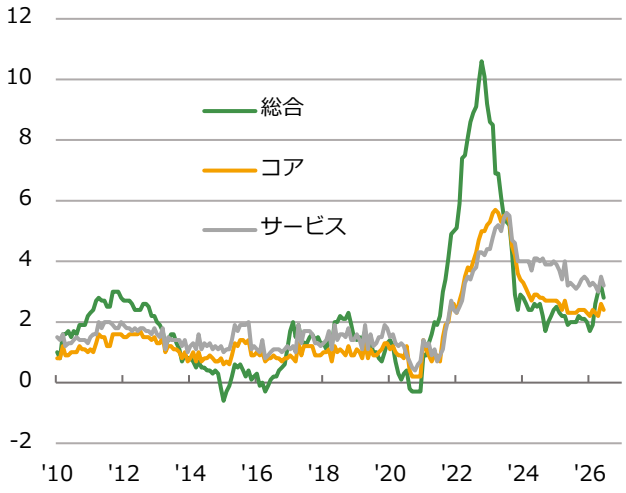
ECB（欧州中央銀行）は7月22･23日（現地）の理事会で、現在の主たる政策金利である中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を超えて預ける資金の金利）を全会一致で2.25%に据え置きました。ECBは6月に利上げを実施したばかりで、今回は据え置きが広く予想されていたため決定にサプライズはありません。

6月の利上げ以降、中東情勢は一時沈静化に向かい、北海ブレント原油価格は7月上旬にかけて、米国とイスラエルが2月末にイランを攻撃する直前の水準である70米ドル近くまで下落しました。しかし、情勢が再び緊迫化するなか、足元では100米ドルを上回る水準へ上昇しています。ラガルド総裁は、エネルギー価格の見通しは6月の基本シナリオに近いとし、インフレの上振れリスクと景気の下振れリスクを指摘しました。一方で、これまでのエネルギー価格上昇の二次的影響は見られておらず、賃金の伸びも鈍化する見通しであり、長期のインフレ期待は2%近辺で安定しているとし、次回9月の理事会ではそれまでに発表される多くのデータに基づき金融政策を判断する「会合ごと」の方針を強調しています。

もっとも、票決は全会一致であったものの、複数の参加者が今回利上げすべきではないかと自問したことをラガルド総裁は明らかにしました。中東情勢は極めて流動的ですが、原油並びに天然ガス価格が現水準から大幅に下落しなければ、市場がほぼ織り込んでいる9月の追加利上げが現実化する可能性が高いと思われます。ドイツの10年国債利回りは3.2%を上回り、約15年ぶりの高水準に達しています。

ユーロ圏の消費者物価指数

（前年同月比、%）　（2010年1月～2026年6月）

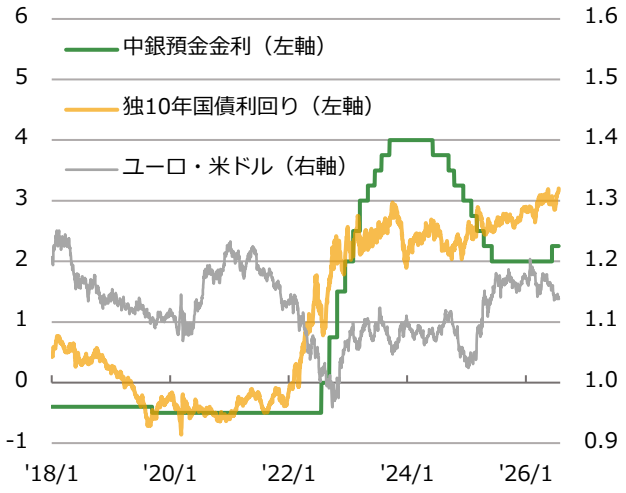


※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

（出所）欧州統計局

ユーロ圏の金利と為替

（%）　（2018年1月初～2026年7月23日）（米ドル／ユーロ）



※中銀預金金利は発表日ベース

（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。